

保育所実習を通した学生の「学び」の構成要素（2） —「自己」および「人間関係」についてのとらえ方の分析—

永田彰子, 澤津まり子 (就実短期大学)

Composition of learning after teaching practice at nursery schools
—The analysis of students' perception concerning self and relationships—

Akiko Nagata and Mariko Sawazu (Shujitsu Junior College)

抄 録

筆者らは保育所実習を通した学びの内容を研究していく上での基礎的資料を得ることを目的とし、保育所実習を通した学びの構成要素について研究を行っている。本稿では、永田・澤津(2008)で提出した資料に続き、「人間関係について」「子どもを取り巻く家族・地域について」「自分自身について（自分自身の性格や態度）」「社会人として働くということについて」に関する分析結果を報告した。分析の結果、子どもの個性や発達の理解、保育方法、言葉かけなど、先行研究の知見と一致した結果を得た。さらに本研究では、自己と照らし合わせて実習経験を振り返る視点が見出され、実習経験は保育スキルの獲得のみではなく、全人的な学びの場であることが示唆された。

キーワード：保育所実習, 学生, 保育, 学び, 自己